

# 四万十町の給与・定員管理等について

## 1 総括

### (1) 人件費の状況（普通会計決算）

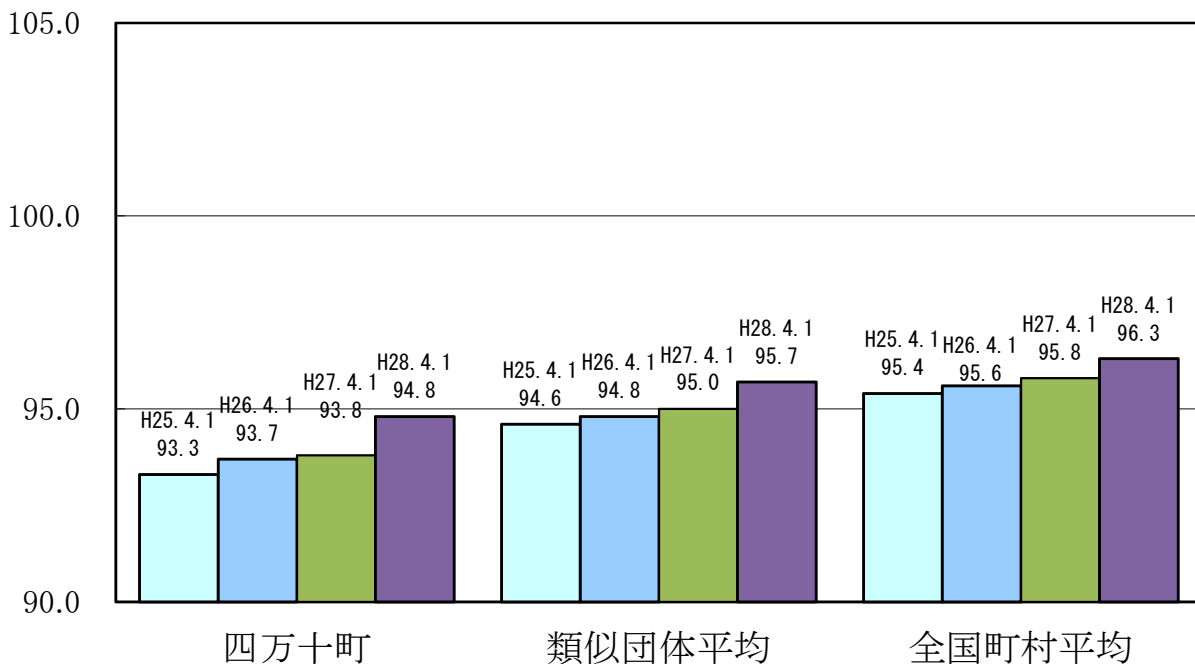
区分	住民基本台帳人口 (平成28年1月1日)	歳 出 額 A	実 質 収 支	人 件 費 B	人 件 費 率 B/A	(参考) 前年度の人件費率
H27 年度	人 18,128	千円 16,043,358	千円 441,288	千円 2,243,445	% 14.0%	% 15.6

### (2) 職員給与費の状況（普通会計決算）

区分	職員数 A	給 与 費				一人当たり 給与費 B/A	(参考) 類似団体 平均一人当たり給 与費
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B		
H27 年度	人 244	千円 886,651	千円 132,127	千円 314,406	千円 1,333,184	千円 5,464	千円 5,587

- (注) 1 職員手当には退職手当を含まない。  
 2 職員数は、平成27年4月1日現在の人数である。  
 3 給与費については、任期付短時間勤務職員（再任用職員（短時間勤務））の給与費が含まれており、職員数には当該職員を含んでいない。

### (3) ラスパイレス指数の状況



- (注) 1 ラスパイレス指数とは、全地方公共団体の一般行政職の給料月額を同一の基準で比較するため、国の職員数（構成）を用いて、学歴や経験年数の差による影響を補正し、国の行政職俸給表（一）適用職員の俸給月額を100として計算した指数。  
 2 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものである。  
 3 平成25年は、国家公務員の時限的な（2年間）給与改定・臨時特例法による給与減額措置がないとした場合の値である。

※ 平成28年4月1日のラスパイレス指数が、①3年前に比べ1ポイント以上上昇している場合、②3年連続で上昇している場合、③100を超えている場合について、その理由及び改善の見込み

給与制度の総合的見直しが未実施のため  
平成29年度において給与制度の総合的見直しを実施する

#### (4) 給与改定の状況

人事委員会の設置なし

##### ①月例給

区分	人事委員会の勧告				給与改定率	(参考) 国の改定率
	民間給与 A	公務員給与 B	較差 A - B	勧告 (改定率)		
H27 年度	円	円	円 ( % )	%	%	% 0.17

(注) 「民間給与」、「公務員給与」は、人事委員会勧告において公民の4月分の給与額をラスパイレズ比較した平均給与月額である。

##### ②特別給(期末・勤勉手当)

区分	人事委員会の勧告				年間支給月数	(参考) 国の年間 支給月数
	民間の支給 割合 A	公務員の 支給月数 B	較差 A - B	勧告 (改定月数)		
H27 年度	月	月	月	月	月	月 4.30

(注) 「民間の支給割合」は民間事業所で支払われた賞与等の特別給の年間支給割合、「公務員の支給月数」は期末手当及び勤勉手当の年間支給月数である。

#### (5) 給与制度の総合的見直しの実施状況について

【概要】国の給与制度の総合的見直しにおいては、俸給表の水準の平均2%の引下げ及び地域手当の支給割合の見直し等に取り組むとされている。

##### ①給料表の見直し

[ 実施  未実施  ]

実施内容(平均引下げ率、実施(実施予定)時期、経過措置の有無等具体的な内容(未実施の場合には、その理由))

「平成26年人事院勧告」は、地域ごとの民間賃金の水準のよりの確な公務員給与への反映や官民の給与差を踏まえた50歳代後半層の給与水準の見直し等を行うよう勧告されましたが、本町の職員の給与は高知県人事委員会勧告に沿って決定する高知県の給与に準拠する給与体系としており、「平成26年人事院勧告」に対して高知県人事委員会は、高知県の給与水準が地域における国家公務員の給与水準を下回る状況にあることから、地域間及び世代間の給与配分の見直しによる給料表の改定を行わなかったため、高知県準拠である本町においても、未実施とした。

##### ②地域手当の見直し

実施内容(国基準における場合の支給割合及び当該団体の支給割合)

なし

##### ③その他の見直し内容

なし

#### (6) 特記事項

なし

## 2 職員の平均給与月額、初任給等の状況

### (1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況（平成28年4月1日現在）

#### ①一般行政職

区 分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国比較ベース)
四万十町	42.2 歳	304,100 円	344,274 円	322,195 円
高知県	43.3 歳	324,341 円	390,189 円	345,330 円
国	43.6 歳	331,816 円	410,984 円	— 円
類似団体	42.2 歳	309,125 円	353,255 円	333,780 円

### (2) 職員の初任給の状況（平成28年4月1日現在）

区 分		四万十町	高知県	国
一般行政職	大 学 卒	172,600 円	180,400 円	176,700 円
	高 校 卒	146,700 円	146,700 円	144,600 円

### (3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況（平成28年4月1日現在）

区 分		経験年数10年	経験年数20年	経験年数25年	経験年数30年
一般行政職	大 学 卒	260,800 円	335,400 円	372,800 円	415,000 円
	高 校 卒	229,900 円	313,300 円	343,000 円	386,400 円

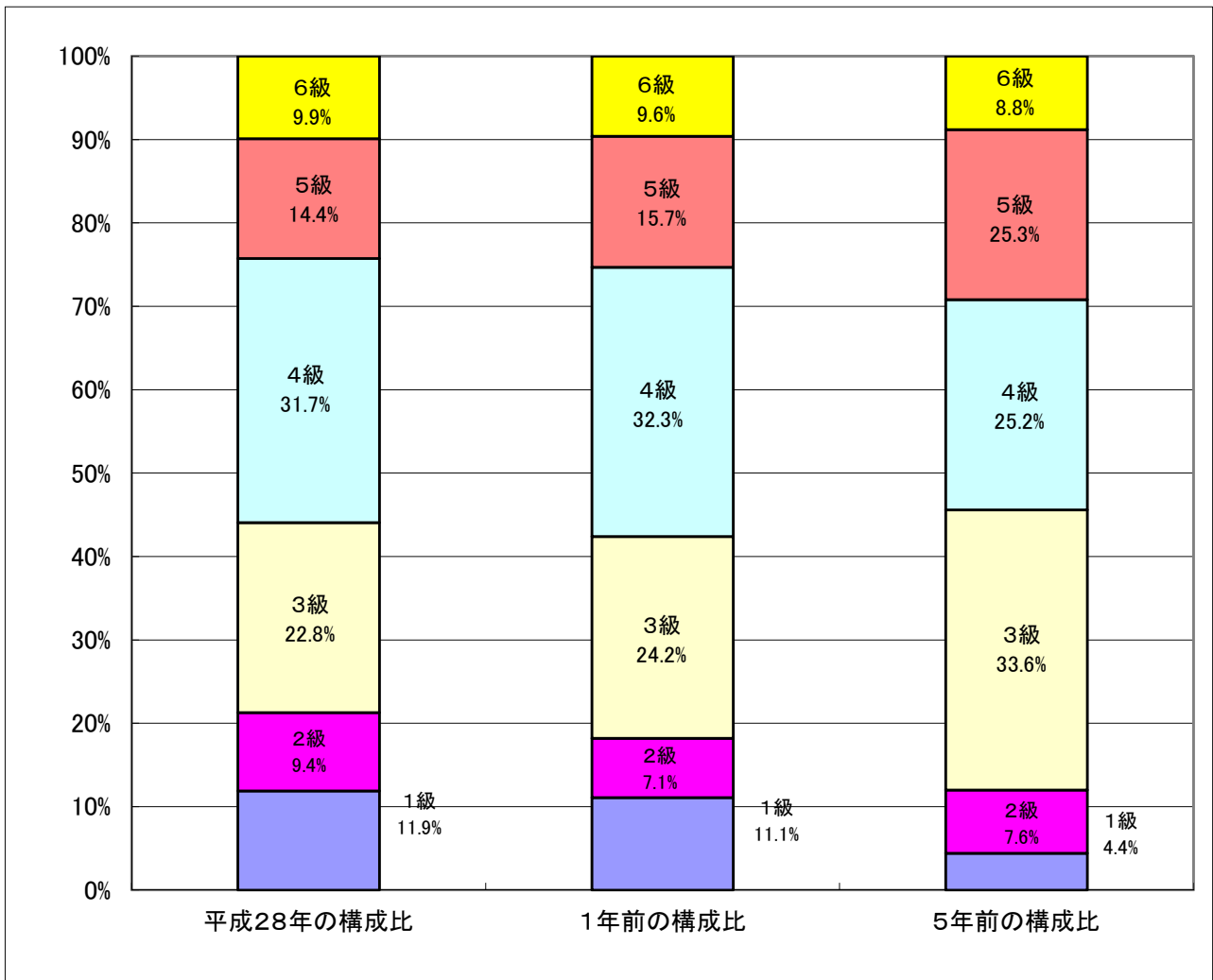
## 3 一般行政職の級別職員数等の状況

### (1) 一般行政職の級別職員数の状況（平成28年4月1日現在）

区 分	標準的な職務内容	職員数	構成比	1号級の 給与月額	最高号級の 給与月額
6 級	会計管理者、政策監、地域振興局長、教育次長、副支所長、課長、事務局長、福祉医療センター所長等	20	9.9%	320,900	424,900
5 級	副課長、次長、室長、総括主幹、総括技幹、保育所長等	29	14.4%	289,500	402,800
4 級	副課長、次長、室長、総括主幹、総括技幹、主幹、技幹、主任保育士等	64	31.7%	262,200	390,400
3 級	主査、技査、保育教諭、保育士、保健師、社会福祉士、介護福祉士	46	22.8%	224,800	356,700
2 級	主任、主任技師、保育教諭、保育士、保健師、社会福祉士、介護福祉士	19	9.4%	188,900	309,500
1 級	主事、技師、保育教諭、保育士、保健師、社会福祉士、介護福祉士	24	11.9%	138,900	244,000

(注) 1 四万十町の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。

2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。



(2) 昇給への勤務成績の反映状況

平成28年4月2日から平成29年4月1日 までにおける運用	四万十町		国	
	管理職員	一般職員	特定管理職員	一般職員
イ 人事評価を実施した	○	○	○	○
標準に加え、上位及び下位の区分も適用			○	○
標準に加え、上位の区分も適用				
標準に加え、下位の区分も適用				
標準の区分のみ適用				
ロ 人事評価を実施していない				

#### 4 職員の手当の状況

##### (1) 期末手当・勤勉手当

四万十町	高知県	国
1人当たり平均支給額（27年度） 1,289 千円	1人当たり平均支給額（27年度） 1,546 千円	—
(27年度支給割合) 期末手当 2.55 月分 勤勉手当 1.40 月分 (1.375) 月分 (0.70) 月分	(27年度支給割合) 期末手当 2.55 月分 勤勉手当 1.40 月分 (1.375) 月分 (0.70) 月分	(27年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 勤勉手当 1.60 月分 (1.45) 月分 (0.75) 月分
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・ 役職加算 5~15%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・ 役職加算 5~20% ・ 管理職加算 10~20%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・ 役職加算 5~20% ・ 管理職加算 10~25%

(注) ( )内は、再任用職員に係る支給割合である。

##### ○ 勤勉手当への勤務成績の反映状況（一般行政職）

平成28年度中における運用	四万十町		国	
	管理職員	一般職員	特定管理職員	一般職員
イ 人事評価を実施した	○	○	○	○
標準に加え、上位及び下位の区分も適用			○	○
標準に加え、上位の区分も適用				
標準に加え、下位の区分も適用				
標準の区分のみ適用				
ロ 人事評価を実施していない				

##### (2) 退職手当（平成28年4月1日現在）

四万十町			国		
(支給率)	自己都合	定年	(支給率)	自己都合	定年
勤続20年	20.445 月分	25.55625 月分	勤続20年	20.445 月分	25.55625 月分
勤続25年	29.145 月分	34.5825 月分	勤続25年	29.145 月分	34.5825 月分
勤続35年	41.325 月分	49.59 月分	勤続35年	41.325 月分	49.59 月分
最高限度額	49.59 月分	49.59 月分	最高限度額	49.59 月分	49.59 月分
その他の加算措置 なし			その他の加算措置		
1人当たり平均支給額		16,167 千円			

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、27年度に退職した職員に支給された平均額である。

##### (3) 地域手当（平成28年4月1日現在）

国民健康保険十和診療所等に勤務する医師に対して支給している。

支給実績（27年度決算）		2,329 千円	
支給職員1人当たり平均支給年額（27年度決算）		776 千円	
支給対象地域	支給率	支給対象職員数	国の制度（支給率）
十和診療所等に勤務する医師	15 %	3 人	16 %
地域手当補正後ラスパイレス指数 (ラスパイレス指数)		93.9 ( 94.8 )	

(注) 地域手当補正後ラスパイレス指数とは、地域手当を加味した地域における国家公務員と地方公務員の給与水準を比較するため、地域手当の支給率を用いて補正したラスパイレス指数。

(補正前のラスパイレス指数×(1+当該団体の地域手当支給率) / (1+国の指定基準に基づく地域手当支給率)により算出。)

(4) 特殊勤務手当（平成28年4月1日現在）

支給実績（27年度決算）		1,800 千円		
支給職員1人当たり平均支給年額（27年度決算）		600,000 円		
職員全体に占める手当支給職員の割合（27年度）		1.0 %		
手当の種類（手当数）				
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	支給実績 （27年度実績）	左記職員に対する支給単価
感染症防疫作業手当	感染症防疫作業に従事する職員	感染症防疫業務	0 千円	日額1,000円
夜間看護業務手当	国民健康保険大正診療所の病棟に勤務する職員	夜間看護業務	0 千円	1回4,500円
医療業務手当	国民健康保険十和診療所等に勤務する医師	医療業務	1,800 千円	月額50,000円

(5) 時間外勤務手当

支給実績（平成27年度決算）	51,289 千円
職員1人当たり平均支給年額（27年度決算）	210 千円
支給実績（平成26年度決算）	92,024 千円
職員1人当たり平均支給年額（26年度決算）	385 千円

（注）職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績（27年度決算）」と同じ年度の4月1日現在の総職員数（管理職員、教育職員等、制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。）であり、短時間勤務職員を含む。

(6) その他の手当（平成28年4月1日現在）

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 （27年度決算）	支給職員1人当たり 平均支給年額 （27年度決算）
扶養手当	配偶者13,000円、配偶者以外1人6,500円、配偶者のいない扶養親族のうち1人11,000円（16～22才の子1人につき5,000円加算）	同		22,672 千円	220,117 円
住居手当	借家の場合：家賃12,000円を超える場合家賃に応じて27,000円を限度に支給	同		17,139 千円	285,650 円
通勤手当	交通機関等利用者：55,000円まで全額支給 交通用具使用者：使用距離等に応じ2,000円～29,500円を支給 片道2km未満の者：なし	異なる	自動車等を使用する職員に対して一部異なる措置	22,992 千円	153,280 円
管理職手当	管理職員に対して支給 6級 月額42,500円 5級 月額38,100円 4級 月額36,200円	異なる	国制度は給料月額の20%を超えない範囲	9,702 千円	462,000 円

## 5 特別職の報酬等の状況（平成28年4月1日現在）

区 分		給 料	月 額	等
給 料	町 長	737,000 円 ( 円 )	(参考) 類似団体における最高/最低額 827,000 円 / 556,500 円	
	副 町 長	631,000 円 ( 円 )	670,000 円 / 514,400 円	
報 酬	議 長	283,000 円 ( 円 )	345,000 円 / 256,000 円	
	副 議 長	228,000 円 ( 円 )	262,000 円 / 211,600 円	
	議 員	205,000 円 ( 円 )	241,000 円 / 183,300 円	
期 末 手 当	町 長	(27年度支給割合)		
	副 町 長	2.90 月分		
退 職 手 当	議 長	(27年度支給割合)		
	副 議 長 議 員	2.90 月分		
退 職 手 当	町 長	(算定方式)	(1期の手当額)	(支給時期)
	副 町 長	給料月額×在職年数×5.0	14,740 千円	任期毎
	備 考	給料月額×在職年数×3.0	7,572 千円	任期毎

(注) 1 給与及び報酬の( )内は、減額措置を行う前の金額であり。

2 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期(4年=48月)勤めた場合における退職手当の見込額である。

## 6 職員数の状況

### (1) 部門別職員数の状況と主な増減理由

(各年4月1日現在)

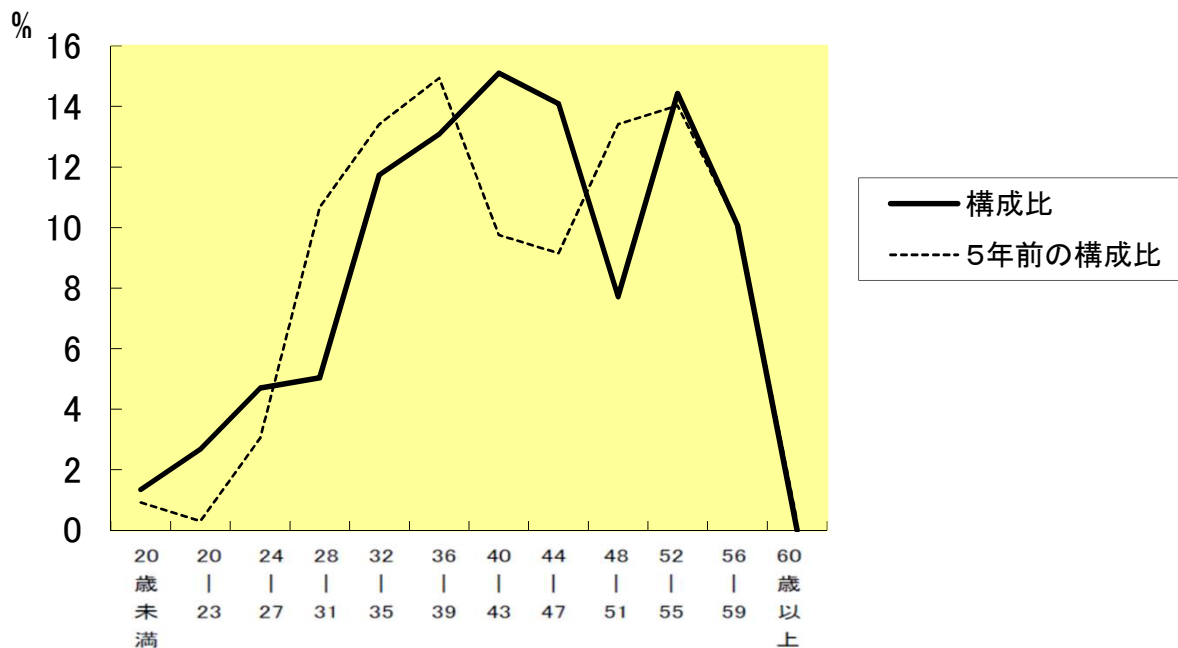
区 分 部 門		職員数		対前年 増減数	主な増減理由	
		平成27年	平成28年			
普通会計部門	議会	4	4	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材育成室新設に伴う増(3)</li> <li>・組織の改革に伴う増(1)</li> <li>・組織の改革に伴う増(1)</li> <li>・派遣職員の派遣解除に伴う減(△1)</li> <li>・保育士の採用による増(3)</li> <li>・組織の改革に伴う増(1)</li> <li>・保健師の採用による増(1)</li> <li>・組織の改革に伴う減(△2)</li> <li>・職員の退職不補充(△2)</li> <li>・組織の改革に伴う減(△1)</li> <li>・組織の改革に伴う増(2)</li> </ul>	
	総務	35	35	0		
	企画	11	15	4		
	住民	18	19	1		
	税務	16	15	△1		
	民生	57	61	4		
	衛生	22	19	△3		
	労働	0	0	0		
	農林水産	26	25	△1		
	商工	9	9	0		
	土木	14	16	2		
	計	212	218	6		<参考> 人口1万人当たり職員数 120.26 人 (類似団体の人口1万人当たり職員数 88.58 人)
	教育部門	32	32	0		
	消防部門	0	0	0		
小計	244	250	6	<参考> 人口1万人当たり職員数 137.91 人 (類似団体の人口1万人当たり職員数 108.65 人)		
公営企業等 会計部門	病院	28	28	0		
	水道	6	6	0		
	下水道	1	1	0		
	その他	19	19	0		
	小計	54	54	0		
合計	298 [ 374 ]	304 [ 374 ]	6 [-]	<参考> 人口1万人当たり職員数 167.70 人		

(注) 1 職員数は一般職に属する職員数である。

2 [ ]内は、条例定数の合計である。



(2) 年齢別職員構成の状況（平成28年4月1日現在）



区分	20歳未満	20歳～23歳	24歳～27歳	28歳～31歳	32歳～35歳	36歳～39歳	40歳～43歳	44歳～47歳	48歳～51歳	52歳～55歳	56歳～59歳	60歳以上	計
職員数	6人	12人	16人	18人	30人	37人	45人	39人	27人	38人	36人	0人	304人

(3) 職員数の推移

部門別 \ 年度	23年	24年	25年	26年	27年	28年	過去5年間の増減数(率)
一般行政	217	217	216	208	212	218	1 ( 0.5% )
教育	34	33	32	32	32	32	△ 2 ( -5.9% )
消防							0 ( )
普通会計	251	250	248	240	244	250	△ 1 ( -0.4% )
公営企業等会計	59	57	56	57	54	54	△ 5 ( -8.5% )
総合計	310	307	304	297	298	304	△ 6 ( -1.9% )

(注) 1 各年における定員管理において報告した部門別職員数

## 7 公営企業職員の状況

### (1) 水道事業

#### ① 職員給与費の状況

##### ア 決算

区分	総費用 A	純損益又は実 質収支	職員給与費 B	総費用に占める 職員給与費比率 B/A	(参考) 平成26年度の総費用に 占める職員給与費比率
27年度	千円 103,654	千円 11,133	千円 11,311	% 10.9	% 6.1

区分	職員数 A	給 与 費				一人当たり給与費 B/A
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	
27年度	人 2	千円 8,012	千円 506	千円 2,793	千円 11,311	千円 5,656

(参考) 市町村平均 一人当たり給与費
千円 6,190

- (注) 1 職員手当には退職給与金を含まない。  
2 職員数は、平成28年3月31日現在の人数である。

#### ② 職員の基本給、平均月収額及び平均年齢の状況(平成28年4月1日現在)

区 分	平 均 年 齢	基 本 給	平 均 月 収 額
四 万 十 町	45.5 歳	333,833 円	471,292 円
団 体 平 均	44.7 歳	346,797 円	514,785 円

(注) 平均月収額には、期末・勤勉手当等を含む。

#### ③ 職員の手当の状況

##### ア 期末手当・勤勉手当

四万十町		一般行政職	
1人当たり平均支給額(27年度) 1,397 千円		1人当たり平均支給額(27年度) 1,289 千円	
(27年度支給割合) 期末手当 2.55 月分 (1.375) 月分	勤勉手当 1.40 月分 (0.70) 月分	(27年度支給割合) 期末手当 2.55 月分 (1.375) 月分	勤勉手当 1.40 月分 (0.70) 月分
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置		(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置	

(注) ( )内は、再任用職員に係る支給割合である。

##### イ 退職手当(平成28年4月1日現在)

四万十町			一般行政職		
(支給率)	自己都合	定年	(支給率)	自己都合	定年
勤続20年	20.45 月分	25.55625 月分	勤続20年	20.45 月分	25.55625 月分
勤続25年	29.15 月分	34.5825 月分	勤続25年	29.15 月分	34.5825 月分
勤続35年	41.33 月分	49.59 月分	勤続35年	41.33 月分	49.59 月分
最高限度額	49.59 月分	49.59 月分	最高限度額	49.59 月分	49.59 月分
その他の加算措置 なし			その他の加算措置 なし		
1人当たり平均支給額 千円			1人当たり平均支給額 16,167 千円		

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、27年度に退職した職員に支給された平均額である。

##### ウ 地域手当(平成28年4月1日現在)

該当なし

##### エ 特殊勤務手当(平成28年4月1日現在)

該当なし

オ 時間外勤務手当

支給実績（平成27年度決算）	128 千円
職員1人当たり平均支給年額（平成27年度決算）	64 千円
支給実績（平成26年度決算）	199 千円
職員1人当たり平均支給年額（平成26年度決算）	100 千円

（注）1 時間外勤務手当には、休日勤務手当を含む。

2 職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績（27年度決算）」と同じ年度の4月1日現在の総職員数（管理職員、教育職員等、制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。）であり、短時間勤務職員を含む。

カ その他の手当（平成28年4月1日現在）

手 当 名	内容及び支給単価	一般行政職の制度との同異	一般行政職の制度と異なる内容	支給実績（27年度決算）	支給職員1人当たり平均支給年額（27年度決算）
扶養手当	配偶者13,000円、配偶者以外1人6,500円、配偶者のいない扶養親族のうち1人11,000円 （16～22才の子1人につき5,000円加算）	同		138 千円	69,000 円
住居手当	借家の場合：家賃12,000円を超える場合家賃に応じて27,000円を限度に支給	同		0 千円	0 円
通勤手当	交通機関等利用者：55,000円まで全額支給 交通用具使用者：使用距離等に応じ2,000円～29,500円を支給 片道2km未満の者：なし	同		378 千円	189,000 円
管理職手当	管理職員に対して支給 6級 月額42,500円 5級 月額38,100円 4級 月額36,200円	同		0 千円	0 円